

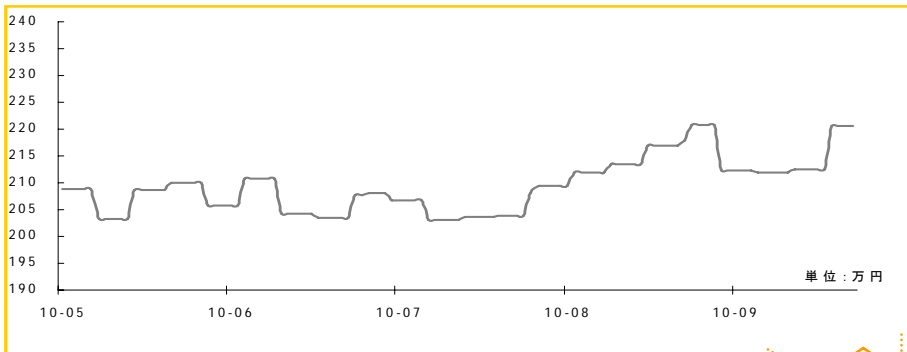
9月運用報告書(2010年9月1日～2010年9月30日)

純資産の推移(1口=百万円)

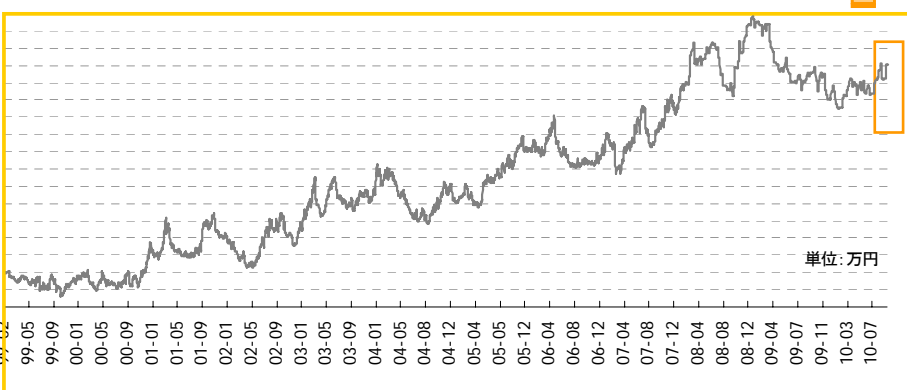
【年平均騰落率: 10.536%】

	設定時 (1999/2/1)	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,058,459	2,081,281	2,081,542	2,208,603	2,229,334
月次騰落率	—	-1.310%	1.108%	0.012%	6.104%	0.938%
設定来騰落率	—	105.845%	108.128%	108.154%	120.860%	122.933%

一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間



一口あたり純資産価額の推移 設定来



マーケット概要

2010年9月のAHL分散投資プログラムの運用成績はプラスとなり、アセットトライは前月比+0.938%(確定値ベース)の利益となりました。

商品先物

エネルギー・セクターは、リスク選好度の急回復を受けて原油及び石油関連製品の売建が損失を被り、マイナスの結果となりました。原油相場は、米ドル安と上向きな経済指標の発表が相まって需要見通しが改善し、当月を通して上昇しました。金属セクターは、米ドル安の恩恵を受けて買建がリターンをあげプラスの結果となりました。銅、アルミニウムといったベースメタルについても中国での需要見通しが高まり、これらの買建より更なるリターンを獲得しました。米国における追加的な「量的緩和」の動きが懸念されるなか、「安全資産」としての投資需要が継続し貴金属の買建は堅調なリターンを獲得しました。農産物セクターは、綿花及びトウモロコシの買建がリターンを牽引し、プラスの結果となりました。綿花相場は、綿花生産世界2位のインドでの供給懸念を受けて、十数年ぶりの高値まで急騰しました。

方す要因	金(買)、銀(買)、綿花(買)	マイナス要因	原油(売)、改質ガソリン(売)、暖房油(売)
------	-----------------	--------	------------------------

金融市場

債券セクターは、世界経済への信認回復を受けてリスク選好度が高まったため、買建が総じて苦戦を強いられマイナスの結果となりました。欧州中央銀行(ECB)による2011年の経済成長見通しが予想よりも強いことが示され、ユーロ圏経済の見通しが改善したことを受けて、欧州国債の買建を中心に損失を被りました。またオーストラリアでは、堅調な雇用統計の結果を受けて金融引き締め観測が高まり、豪国債の買建も損失となりました。株式セクターは、米国における雇用統計、住宅関連及び製造業関連の指数が予想を上回る結果となり、米景気の二番底懸念が後退したことを受けてS&P500及びナスダック100指数の売建が損失を被り、更に日本銀行が円売り介入に踏み切ったことから輸出型企業の業績見通しが改善したことを受けて、日経225及びTOPIX指数の売建も損失となりマイナスの結果となりました。

方す要因	韓国KOSPI(買)、香港HCE(買)、MSCI台湾(買)	マイナス要因	日経225(売)、ユーロ建独長期国債(買)、豪国債(買)
------	-------------------------------	--------	------------------------------

通貨/短気金利先物

通貨セクターは、米連邦準備制度理事会(FRB)が一段の金融緩和に踏み切る姿勢を打ち出したことを受けて、米ドルが急落したため同売建より大半のリターンを獲得しプラスの結果となりました。豪ドル、南アフリカランドなどの資源国通貨については、素材価格の上昇も好感されたことからこれらの買建より大幅なリターンを獲得しました。特に豪ドルについては堅調な雇用統計の結果を受けて、オーストラリア準備銀行(RBA)による次回会合での利上げ観測が高まり豪ドル相場が更に上昇したことから、米ドルに対する豪ドルの買建が大変好調なリターンをあげました。短期金利セクターはユーロ圏経済見通しの改善を背景にユーロ圏相場が下落し、買建より損失の大半を被りマイナスの結果となりました。その他では、当月カナダ中央銀行が政策金利を0.25ポイント引き上げたことを受けて、カナダ短期金利の買建も苦戦しました。

方す要因	豪ドル/米ドル(買)、南アフリカランド/米ドル(買)	マイナス要因	ユーロ(買)、カナダドル/米ドル(売)、ユーロ/円(売)
------	----------------------------	--------	------------------------------

「投資家の皆様へ」 1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

Web site: <http://assettry.com>

フリーダイヤル: 0120-66-8639 (受付時間: 土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail: center@okato.co.jp

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第4位を切捨て)。◆上記数値はあくまでも速報値でありコスト等は概算のため解約時の資産価値とは一致しないことがあります。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価格は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は先物運用顧問会社であるマンインベストメンツの情報提供により、信頼できると判断したデータに基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

